



第4部門

『まちづくり活動の支援方策に関する研究』

(平成 19 年 9 月発行)

A 5 102 ページ

本書は、まちづくりの専門家の派遣，市民活動支援センターの設置の 2 点に着目し，その動向を把握している。

また，福祉まちづくりとして，介護予防の視点，震災予防を目指したまちづくりとして東京都足立区，山形県西川町，新潟県山古志村，福岡県福岡市等を取り上げている。

目次

I 市民主体のまちづくり活動の支援方策に関する研究

－支援センターとアドバイザー派遣制度の動向について－

蓑輪裕子（聖徳大学短期大学部総合文化学科准教授）

1. はじめに
2. 研究の方法
3. まちづくりアドバイザーの動向
4. 千葉県西部地域における市民活動サポートセンターの動向
5. まとめ

II 介護予防のまちづくりの現状と課題－地域包括支援センターを手がかりとして－

赤羽克子（聖徳大学人文学部社会福祉学科准教授）

高尾公矢（聖徳大学人文学部社会福祉学科教授）

1. はじめに
2. 「介護予防」のはじまり
3. 地域包括支援センターとは
4. 地域包括支援センターの設置状況
5. 東京都足立区の事例
6. 山形県西川町の事例
7. おわりに

III 中越大震災復興のためのまちづくり調査－山古志村を中心とした調査報告－

赤羽克子（聖徳大学人文学部社会福祉学科准教授）

1. はじめに
2. 新潟県中越地震の発生
3. 新潟県の被害の状況
4. 山古志村の被害状況
5. 山古志村調査
6. 避難指示・勧告解除
7. ボランティアの活躍
8. 被災地の写真（山古志村を中心に）
9. おわりに

IV 福岡県福岡市の生涯学習まちづくりの取り組み

花輪茂道（聖徳大学人文学部心理学科教授）

1. はじめに
2. 元気都市・福岡，自治都市・福岡
3. 少子化対策－福岡市民主役の子育て－
4. 協働による生涯学習システム
5. 福岡市における河川事業と河川愛護活動の展開